

平成29年度 中国経営品質協議会 幹事会を開催

6月9日(金)、平成29年度(第18期)中国経営品質協議会幹事会が開催され、「平成28年度活動報告」ならびに「平成29年度活動計画」が審議、承認されました。

冒頭に清水希茂代表幹事(中国電力株(株)代表取締役社長執行役員)から、「平成29年度のわが国経済は、経済対策など各種政策の推進等により、雇用・所得環境が引き続き改善し、経済の好循環が進展する中で、個人消費や企業部門の生産・設備投資の増加および公共投資の下支えにより、景気の回復が継続することが見込まれる。

一方で、アメリカの政策による国際金融市場の混乱や保護主義的政策の拡大、中国や欧州などの海外経済の下振れ等のリスク要因から、先行きが不透明な状況にある。また、少子高齢化による労働人口の減少などの社会構造が変化する状況のもと、AI等の技術革新の進行による生産性の向上が不可欠となっている。

このような状況にあって、各企業において、顧客ニーズを的確に捉え、常に価値を提供することのできる組織を作り、自らの力で企業・組織としての価値を高めていく「経営品質の向上」への取り組みが、今まで以上に、必要になると考えている。

そこで、当協議会においては、経営品質向上活動を通じて、中国地域全体の活性化に貢献すべく、今年度も着実に事業を実施していく。」と挨拶がありました。

引き続き「平成28年度活動経過報告」ならびに「平成29年度活動計画」の審議に入り、両議案とも原案通り承認されました。また、平成29年度の幹事(8名)・運営委員(6名)についても承認されました。

平成29年度の活動計画の概要は、以下の通りです。



【平成29年度活動計画について】

経営品質向上プログラムは、規模の大小、製造業・サービス業・行政などの事業分野を超えて活用できるものであり、本プログラムの普及促進および実践組織への支援に向けて事業を展開します。

◆「経営品質実践セミナー」

企業・組織変革への動機づけ、経営品質の本質に対する“気づき”を増進させ、確実に経営品質を高めることに主眼を置いた「経営品質実践セミナー」を定例開催します。今年度は「経営品質の本質と確実な高め方」をテーマに5例会を、広島市において開催します。

《内容》

第1例会：8月30日(水)

「最良だから最強な組織作りの定石

～経営品質向上の本質を説く～

講師：株式会社MATコンサルティング

代表取締役社長 望月 広愛 氏

第2例会：10月6日(金)

「全社員がとことん考え、行動する企業風土

～底力を発揮する現場づくり～

講師：日本全薬工業株式会社

代表取締役社長 高野 恵一 氏

(2016年度日本経営品質賞受賞)

第3例会：12月6日（水）

「お客様にとって必要な店になるための独自価値の追求
～業界常識にとられない人材確保と早期戦力化～」
講師：株式会社ワン・ダイニング
代表取締役社長 高橋 淳 氏
(2013年度日本経営品質賞受賞)

第4例会：平成30年1月19日（金）

「経営品質の活動で進化した社員の現場力
～社長も社員も苦勞したワンマン経営からの脱却～」
講師：株式会社ピアズ
代表取締役社長 桑野 隆司 氏
経営ソリューション事業部長 立石 公彦 氏
(2016年度日本経営品質賞受賞)

第5例会：平成30年3月7日（水）

「経営品質の確実な高め方
～素晴らしい企業の革新のプロセス～」
講師：日本経営品質賞判定委員 加藤 重正 氏
(元 千葉夷隅ゴルフクラブ 取締役総支配人)

◆「アセスメントコース」

セルフアセスメントの基本的な考え方を習得す



中堅社員セミナー開催

「やる気」と「自信」が湧いてくる中堅社員セミナー
～結果を出せるたくましいリーダーとなるための自己改革

6月23日(金)に、マインドセットジャパン株式会社 代表取締役社長 服部英彦氏を講師にお招きし、中堅社員セミナーを開催しました。その内容をご紹介します。

セミナーは10時から開始しましたが、すぐに服部講師が考案した演習がスタートしました。10時30分には、ほとんどの参加者が椅子から立ち上がり、模造紙に全員が一丸となり夢中になって課題をまとめていかれました。そして、演習に取り組んだプロセスから、日々の仕事で自分自身を追い詰めている辛いことは、実は、仕事を充実させるために必要なことであることを実感されました。さらに、結果を導き出すリーダーの役割と責任についても気づきを深めていただきました。

次に、現場力を強化するリーダーの仕事力として、メンバーをやる気にさせるプロデュース力、メンバーの力を引き出し集結させる目的設定力と目標管理力、チームの成果を追求する業務遂行力、メンバーの模範となるロールモデル力について演習を交えながら解説されました。

る「セルフアセスメントコース」の3コースを継続して開催します。

A1 コース（基礎編）

平成29年10月24日（火）～25日（水）
経営品質の基本的な考え方・セルフアセスメントの概要を解説

A2 コース（体験編）

平成29年11月28日（火）～29日（水）
アセスメント基準書に基づく経営活動の見方・考え方を解説

A3 コース（実践編）

平成30年1月23日（火）～24日（水）
セルフアセスメントの方法と効果的な対話の方法を習得

◆その他、経営品質に係る社内活動の進め方、実践時の各種アドバイスなど、各組織の実情に則した支援を実施します。



セミナーの終盤では、メンバーをイキイキさせるためのコミュニケーションのスキルについてロールプレイングを行なった後、人を育成する法則についても講師の経験をもとに興味深く説かれました。

受講後の参加者のご感想（抜粋）

- ・今までのセミナーで一番心に響きました。（当本部のセミナーに初参加）
- ・とても参考になるセミナーで今後に役立てていきたいです。
- ・今まで受けたことのない内容で、すごく斬新でした。（当本部のセミナーに初参加）
- ・自分の今の欠点が明確にわかり良かったです。
- ・面白おかしく、時には厳しく、メリハリのある内容でした。
- ・とんでもなくモチベーションが上がりました。ありがとうございました。

HOT情報

創立60周年記念式典 記念講演

5月30日(火)に、平成29年度理事会・通常総会に引き続き創立60周年記念式典を開催し、記念講演の講師としてベストセラー「嫌われる勇気」の著者である、哲学者・日本アドラー心理学会顧問 岸見一郎氏をお招きしました。講演の要旨の一部分をご紹介します。

○ 嫌われることを恐れるな

タイトルが独り歩きしている感があるが、「嫌われる勇気」とは、嫌われなさいではなく、嫌われることを恐れるなということの意味している。

とかく我々は、人によく思われたいと考え、本当にしたいことができない、あるいは本当に言うべきことが言えないという状況になりがちであるが、大切なことを言えないということは、望ましい状態ではない。

組織であれ家族であれ、共同体にとって何が最善なのかということ、自己保身に走ることなく、自分がどう思われるかということを考えず、積極的に発言し行動できる部下や子供を育ててもらいたい。

○ 人からどう思われるかを気にしない

我々は他の人に期待し、また、我々自身も他の人から期待されており、多くの人はその期待に応えないといけな思っているが、時には期待に反して行動する勇気を持たなければならない。これは正に「嫌われる勇気」である。

職場においても、部下が上司の指示に対して何の意見もなく受け入れてくれたら、一見いい上司・部下関係ができるかもしれないが、長い目で見れば組織を活性化することにはつながらないであろう。そういう意味で、人からどう思われるかを気にしないということは非常に大切である。

人からどう思われるかということは、広い意味での評価であり、気にはなるが、評価と自分の価値あるいは本質は全く別物である。他人の評価が自分の価値を決めるわけではなく、評価によって自分が振り回される必要は全くない。

○ ありのままの自分自身を受け入れる

人からの評価でなく、ありのままの自分自身に価値

があると思ひ、それを受け入れることは大事なことであるが、対人関係の中に入っていかなければならず、多くの人が抵抗感を持つ。対人関係の中に入っていくと、嫌われたり、憎まれたり、裏切られたりして傷つかないわけにはいかない。それを避けるための理由として、自分には価値がないと思ってしまう。対人関係はそういう意味で不幸の源泉と言えるかもしれないが、一方で、幸福感や生きる喜びは、対人関係の中でしか得ることができない。

幸せになるためには、傷つくというリスクも冒したうえで、なお幸せになる勇気を持ち、幸せになりたいと思ひ、対人関係の中に入っていかなければならない。そのためには、自分に価値があると思わなければならない。

仕事も同様で、結果の評価を恐れず取り組み、努力して達成できたとき、充実感や満足感を得られたら、人は幸せになれる。上司は、部下が勇気を持って仕事に取り組み、結果を出し、幸福感を得られるようにするため、自分に価値があると思える援助をしなければならない。この際、叱る、褒めるという行為は望ましくない。非常にシンプルではあるが、「ありがとう」と言われることにより、貢献感を持つことができ、自分に価値があると思うことができる。

○ 今ここを生きる

過去はもうないので、手放さなければならない。特に対人関係については、過去に囚われていたら仲良くなれない。また、未来も同様に手放さなければならない。来ていない未来のことを考えて不安になる必要はなく、明日にならないと考えることができないことは、明日考える。今日という日を大事にしていくしかないし、そう思えたら、心から「ありがとう」と言えるようになる。

取り組まなければならない課題を前にして、理由をつけてそこから逃げようとせず、勇敢に取り組んでいく姿を部下が見た時、その勇気は必ず部下に伝わっていく。困難かもしれないが、勇気を伝染させるような毎日を過ごしてもらいたい。

伝言板

経営品質実践セミナー（第1回）

「最良だから最強」な組織づくりの定石

日時：8月30日(水) 14:00～17:00

場所：広島国際会議場（広島市中区中島町1-5）

会員参加料：8,700円

講師：

株式会社MATコンサルティング

代表取締役社長 望月 広愛氏

内容：

1. 経営品質との出会いと Great な職場づくりが大切な理由
2. 経営品質アセスメント基準の実務的な解釈の仕方
3. 勝ち残るための仕組みづくりと最強組織の作り方
4. 低価格戦略では利益が確保できず、自社の未来をなくす
5. 成果の出る企業と出ない企業の違いはどこにあるのか
6. 自立と自律に向けたマネジメント力強化とリーダーのあり方

ほか

経営セミナー（第1回）

キリンビール高知支店の奇跡

～勝利の法則は現場に存在する～

日時：9月22日(金) 14:00～16:00

場所：広島国際会議場（広島市中区中島町1-5）

会員参加料：2名様まで無料

（3名様以上から1名様8,700円）

講師：元 キリンビール株式会社

代表取締役副社長 田村 潤氏

内容：

1. 情けない営業、負けている組織風土、何を指示すればいいかわからない日々
2. 心の置き所を変えて、現場を歩いてみて気づいたこと
3. 企業間の差は実行力の差。良い計画も実行しなかったら、ただのゴミ
4. 基礎体力をつけて現場力を高める秘訣
5. 徹底的にお客様視点になると無駄なコストが省かれイノベーションが起こる理由
6. 舞台が大きくなっても「勝つための基本と「心の置き所」は変わらない
7. お客様に価値を創造する営業に必要なこと、経営に必要なこと

ほか

メンタルヘルスマネジメントセミナー

～職場のメンタルヘルス対策（管理者編）～

日時：8月9日(木) 10:00～17:00

場所：広島市文化交流会館（広島市中区加古町3-3）

会員参加料：15,400円

講師：Y's オーダー 代表取締役 藤野 祐美氏

内容：

仕事に対してストレスを感じている労働者が6割を超え、15人に1人がうつ病といわれる現在、部下を持つ管理職の方々にとってメンタルヘルスの問題は、なかなか改善されません。職場で起こる部下の心の問題は、知識だけでは対応できません。本セミナーは、現場で実践的な対応方法ができるよう、職場で起こりがちな具体的な事例を取り上げ、本質をついた要点をわかりやすく解説いたします。

1. 横這いのメンタルヘルス問題の現状：今、職場で起きていること
2. 知らないでは済まされない！ストレスと病の基礎知識
3. メンタルヘルス対策は「早期発見」が重要！
～心の不調に気づくためのチェックポイント～
4. 心の不調を起こした部下への正しい対応
5. 職場復帰のための具体的な方法
6. 「予防」のために上司、職場がすべきこと

管理者セミナー

～部下の仕事力を高める管理者の役割～

日時：9月7日(木) 10:00～17:00

場所：広島市文化交流会館（広島市中区加古町3-3）

会員参加料：15,400円

講師：アクティブ経営研究所 所長

経営コンサルタント 鑄方 貞了氏

内容：

先の見えない経営環境の中で、管理者として適切な判断をしながら部下を導くことは、勇気がいると同時に、大変なストレスがかかってきます。このセミナーでは、働くことの意味や、人のやる気の源にまで迫り、真の管理者の仕事や役割を明快に紐解きます。

1. 自分の人生のために仕事をしていますか？
2. 部下と自分の長所を仕事に生かす
3. 管理者の真の役割と職責とは？
4. 正しく誉めると部下は大きく育つ
5. 部下の失敗を成長に活かす「叱り方」
6. 部下のやる気と信頼が高まる指導とは！
7. 自己革新できる管理者が組織を革新する

〈発行〉中国生産性本部

〒730-0041 広島市中区小町4-33 中電ビル2号館4階

TEL (082) 242-7972 FAX (082) 242-7973

URL <http://www.gr.energia.co.jp/cpcenter/>